

JAF 認定審判員 各位

公益社団法人日本エアロビック連盟

2022年度以降の「JAF 認定審判員制度」改定のお知らせ

拝啓 初秋の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は本連盟の活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、1年遅れになった競技規則の大改定、種目の追加、種目名の変更などを来年4月より実施すること、2024年の「佐賀国体」でエアロビックが公開種目になることから、JAF 認定審判員制度を大幅に改定することにいたしました。

1. 改定のポイント

- 2022年から現在「公式競技」と呼んでいるスズキワールドカップなど国際大会につながる種目を「エアロビック・ジumnasティックス種目(以下:AG 種目)」と名称変更し、「エアロダンス(以下:AD 種目)」を新設することから、審判の役割りを見直しました。
- AD 種目を国体公開競技の柱にすることを旨し、審判員の育成が急務になっていることから、審判員養成の機会を拡大し手軽に審判員資格にチャレンジできるよう審判の資格取得、資格更新の際の受講方法および受講条件を見直しました。

以下に新制度に基づく S~C 級審判員の研修会の受講及び受験条件を説明しますので、11月以降の研修会申込時までにご検討いただければ幸いです。

●S~C 級 保有者の受講可能級・受験・資格取得 ※2				
保有級	希望級	受講/受験資格	受験方法	級の取得
S 級	名譽審判員	初回審判員登録より20年以上経過、委員会推薦または自己推薦で取得可	-----	-----
	S 級	受講可・条件なし	オンライン受講後、課題提出	-----
	A 級		オンライン受講後、アンケート提出	-----
	C 級		オンライン受講後、アンケート提出	-----
A 級	名譽審判員	初回審判員登録より20年以上経過、委員会推薦または自己推薦で取得可	-----	-----
	S 級	受講年度4月1日時点で20才以上、かつ以下の全ての要件を満たす者 ・A級またはB級審判員資格の保有期間が合算、もしくは単独で3年以上ある者(過去5年間に開催された全日本選手権大会シニア部門で優勝/準優勝の実績がある者は、通算2年以上で可 ※3) ・過去2年以内に、JAF公式競技会での審判活動または大会支援活動実績が2回以上ある者	オンライン受講後、課題提出 リアルタイムで試験実施	級の合格基準に満たない場合は基準を満たす級を取得
	A 級	受講可・条件なし	オンライン受講後、課題提出	-----
	C 級		オンライン受講後、アンケート提出	-----
B 級	S 級	受講年度4月1日時点で20才以上、かつ以下の全ての要件を満たす者 ・B級取得から3年以上あるもの(過去5年間に開催されたJC全国大会優勝/準優勝の実績がある者は、2年以上で可 ※3) ・過去2年以内に、JAF公式競技会での審判活動または大会支援活動実績が2回以上ある者	オンライン受講後、課題提出 リアルタイムで試験実施	級の合格基準に満たない場合は基準を満たす級を取得
	A 級	受講年度4月1日時点で18才以上	オンライン受講後、課題提出	-----
	B 級	受講可・条件なし	オンライン受講後、アンケート提出	-----
	C 級		オンライン受講後、アンケート提出	-----
C 級	A 級	受講年度4月1日時点で18才以上	オンライン受講後、課題提出および昇級試験用の課題別途提出	級の合格基準に満たない場合は基準を満たす級を取得
	B 級	受講年度4月1日時点で16才以上	オンライン受講後、課題提出	
	C 級	受講可・条件なし	オンライン受講後、アンケート提出	

※2：審判級については自己申告でSからA、AからB等選択可能。名譽審判員はすべての講座の受講が可能。

※3：受講/受験条件にある「大会成績優遇措置」については、いずれも初回受験時のみ適用。

2. 新しい審判員の役割

審判級\種目	AG種目	AD種目	フライト種目
名誉審判員		エンジョイ・チーム部門の審判（ただし主任を除く）	
S級審判員	すべての審判	すべての審判	すべての審判
A級審判員	実施、芸術、タイム、ライン	すべての審判	すべての審判
B級審判員	タイム・ライン	全国大会の主任を除くすべての審判	すべての審判
C級審判員	タイム・ライン	エンジョイ・チーム部門の審判（ただし主任を除く）	

注) AG種目(エアロビック・ジムナスティックスの略称)、AD種目(エアロダンスの略称)

3. C級審判員について

今後、C級審判員はエアロビック競技の理解者やファン拡大を目的とする審判資格として位置づけられます。当面は、JAF認定資格者や公認資格者をはじめ、選手やその保護者、都道府県役員関係者を保有対象者としています。取得年齢も14歳以上に引き下げられて、現行の審判員資格や指導員資格とは違って、2年毎の資格更新の必要がない永久資格が最大の特徴となっています。また、個人賛助会員およびJAF認定登録クラブとして登録されているコーチ、選手は安価に養成講座を受講することができ、さらにJAF認定資格者や公認資格者は、資格登録時に必要な認定料や登録料を支払う義務が免除されるため、養成講座受講後の申請手続きのみで資格を取得することができます。

4. 今後の審判員資格認定講習会/更新研修会

審判員養成の講習会や資格更新研修会も、自宅でも気軽に受講できるようオンラインで実施されます。昨年度、従来の集合形式の講座はコロナ禍でほとんどがオンラインでのリモート形式となりました。しかし、受講者から交通宿泊費が節約できた、時間制約が少なかった、オンデマンドのため繰り返し視聴できより理解を深めることができた、また、重複していろいろな講座が受講できた等、予想以上の高い評価をいただきました。

今後は、従来の対面による集合形式の講座のメリットも大きいことも考慮して、審判同士の採点練習会などもコロナ禍に配慮しながら随時実施して行きたいと考えています。

5. その他

・2022年度からAD種目が新設され、AG種目のルールが改定されることから、認定審判員の情報共有のため皆様には今年度内のご受講をお願い申し上げます。

・オンライン研修会の詳細は10/1発行次号「スマイル」に同封する2022年度ナショナルキャンプのチラシをご参照ください。

・本件についてのご質問は、JAFウェブサイトの「お問い合わせ」から「その他」を選びご記入いただきますようお願いいたします。

以上